

# 防災豆知識 vol.4



令和6年10月15日  
梅丘まちづくりセンター

## テーマ「防災訓練」

### 1. 防災訓練の種類について

#### (1) 総合防災訓練

現在では、実施していません。

かつては、5地域ごとに9月1日前後の日曜日に実施していました。

現在は、世田谷区災害対策本部の運営訓練として、職員の訓練となっています。

#### (2) 地区防災訓練

まちづくりセンターの地区ごとに行う訓練です。

各地区町会・自治会連合会を中心に構成された実行委員会が企画します。

いくつかの訓練コーナーを町会ごとに体験して回る「ローテーション型訓練」、多数の訓練ブースを設けて個々で自由に体験して回る「自由参加型訓練」、発災時の避難等の対応を時系列に沿って体験する「発災対応型訓練」等の形態があります。

#### (3) 防災教室

防災区民組織（町会・自治会含む）、マンション管理組合、学校、事業所等の団体ごとに行う訓練です。

訓練項目の中から、実施したい訓練を選んで実施します。

会場は、団体で押さえて、地域振興課地域振興・防災担当あるいはまちづくりセンターに申し込みます。

#### (4) 避難所運営訓練

避難所ごとに行う訓練です。

発災から避難所開設までの流れ、避難所で使用する資機材訓練、避難所各班の行動の訓練、避難所倉庫の備蓄物品の確認等、避難所運営に必要な訓練を行います。

##### ① 避難所運営委員対象の避難所運営訓練

避難所開設に当たって、避難所運営委員が、各避難所の避難所運営マニュアルに沿って行動を確認するための訓練です。

避難所の鍵の解錠、受付の準備、立入禁止区域の表示、炊き出し物品の取り扱い等の訓練を行います。各避難所に合った避難所運営マニュアルを作っていくために、訓練での体験をもとに意見を出し合って随時修正も行います。

## ②地域の方を対象にした避難所運営訓練

周辺住民を対象に、避難所の運営はどのようになるかということを理解してもらうための訓練です。

避難所用倉庫の見学や各種資機材の取り扱い等を体験してもらいます。

避難所運営委員が説明をしている避難所もあります。

## ③避難所宿泊体験訓練

実際に避難所に宿泊し、避難所生活を体験します。

受付から退所までの流れを実際に訓練することができます。

避難所となる体育館は、「歩けば音はする」「話し声も意外と聞こえる」「荷物を取り出したり片づけたりするのも音が出る」「いびきをかく人がいればうるさい」「雨が降れば屋根に当たる音が響く」等、避難所での生活はストレスが多いことを体験できます。在宅避難がいいということを感じてもらえます。

## 2. 訓練項目一覧

- 起震車地震体験訓練
- バケツ投水訓練
- 初期消火訓練
- 粉末消火器操作展示
- スタンドパイプ（応急給水資器材）体験訓練
- D級ポンプ体験訓練
- スタンドパイプ放水
- D級ポンプ放水
- B級ポンプ放水（消防団）
- 着衣着火展示
- 天ぷら油着火展示
- 天ぷらなべ消火訓練
- 煙中避難訓練
- 救出訓練
- 救出用資機材の展示
- 119番通報訓練
- 応急救護訓練（AED訓練含む）
- 担架搬送法訓練
- 災害用ロープワーク訓練（ロープ結索訓練）
- 車いす避難体験訓練
- 災害時電気安全コーナー（東京電力）
- ガスマイコンメーター復帰体験（東京ガス）
- 子どものための火育（東京ガス）
- 災害用伝言ダイヤル体験（NTT東日本）
- マンホールトイレ設置訓練
- 身近なものの活用
- 防災用品展示
- 消防PR・警察PR
- 耐震PR
- 発電機操作訓練
- 炊き出し訓練
- 発声訓練
- 自衛隊救助PR
- HUG